

国土数值情報（駅別乗降客数）

製品仕様書

第 2.6 版

第 1.0 版 平成 24（2012）年 3 月

第 1.1 版 平成 25（2013）年 3 月

第 2.0 版 平成 26（2014）年 3 月

第 2.1 版 平成 27（2015）年 3 月

第 2.2 版 平成 28（2016）年 3 月

第 2.3 版 平成 29（2017）年 3 月

第 2.4 版 平成 30（2018）年 3 月

第 2.5 版 平成 31（2019）年 3 月

第 2.6 版 令和 2（2020）年 3 月

国土交通省国土政策局

【改訂履歴】

版	更新日	改訂内容
第 1.0 版	2012 年 3 月	初版
第 1.1 版	2013 年 3 月	<p>主題属性「乗降客数 2010」の名称を「乗降客数 2011」に、タグ名「p10」を「p11」に変更。</p> <p>主題属性「データ有無コード」のコード「データ有無コード」に”3”（非公開）を追加。</p> <p>原典資料を、「国土数値情報（鉄道）：（国土交通省）」「国土交通省保有の駅別乗降客数：（国土交通省）」のみに変更。時点も合わせて変更。</p>
第 2.0 版	2014 年 3 月	<p>主題属性「重複コード」の名称を「重複コード 2011」に変更。</p> <p>主題属性「データ有無コード」の名称を「データ有無コード 2011」に変更。</p> <p>主題属性「備考」の名称を「備考 2011」に変更。</p> <p>以下の主題属性を追加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重複コード 2012 ・ データ有無コード 2012 ・ 乗降客数 2012 ・ 備考 2012 <p>主題属性「重複コード」のコード「重複コード」に”3”（駅なし）を追加。</p> <p>主題属性「データ有無コード」のコード「データ有無コード」に”4”（駅なし）を追加。</p> <p>全てのタグ名を変更</p>
第 2.1 版	2015 年 3 月	<p>平成 26 年度更新に伴い記述を更新。</p> <p>第 2.0 版の符号化仕様の誤りを修正。</p>
第 2.2 版	2016 年 3 月	<p>平成 27 年度更新に伴い記述を更新。</p> <p>5.1 座標参照系を「JGD2011」に変更。</p>
第 2.3 版	2017 年 3 月	「重複コード 2015」等 4 項目の主題属性を追加。
第 2.4 版	2018 年 3 月	「重複コード 2016」等 4 項目の主題属性を追加。
第 2.5 版	2019 年 3 月	「重複コード 2017」等 4 項目の主題属性を追加。
第 2.6 版	2020 年 3 月	「重複コード 2018」等 4 項目の主題属性を追加。

目次

1. 概覧	1
1.1. 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2. 目的	1
1.3. 適用範囲.....	1
1.4. 引用規格.....	1
1.5. 用語と定義	2
1.6. 略語	2
1.7. 参考資料.....	2
2. 適用範囲	2
2.1. 適用範囲識別.....	2
2.2. 階層レベル	2
3. データ製品識別.....	3
3.1. 製品仕様識別.....	3
4. データ内容および構造.....	3
4.1. 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	3
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ	3
4.1.2 産業統計パッケージ	4
4.1.3 駅別乗降客数パッケージ	5
4.1.4 共通パッケージ.....	12
4.2. 空間スキーマプロファイル.....	13
4.3. 時間スキーマプロファイル.....	13
5. 参照系.....	13
5.1. 座標参照系	13
5.2. 時間参照系	13
6. データ品質	14
6.1. 品質要求及び評価手順.....	14
7. データ製品配布	16
7.1. 配布書式情報.....	16
7.2. 配布媒体情報.....	16
8. メタデータ	16
付属資料	
1. 符号化仕様作成のためのタグ一覧	1
2. 符号化仕様	3

1. 概覧

1.1. 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（駅別乗降客数）製品仕様書 第 2.6 版
- 日付：2020 年 3 月 13 日
- 作成者：国土交通省 国土政策局 国土情報課
- 言語：日本語
- 分野：産業統計
- 文書書式：PDF

1.2. 目的

本製品仕様書に基づく国土数値情報データは、国土形成計画の策定を支援することを目的とする。また、各分野で広く利用されることも想定している。

本データは、全国の鉄道駅について、平成 23(2011)年度以降の駅別乗降客数が時系列で把握できることを目的として整備したものである。

1.3. 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲：日本全国
- 時間範囲：本製品仕様書に基づき作成されるデータの作成年度まで

1.4. 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル(JPGIS)第 2.1 版 平成 21 年 5 月

1.5. 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル(JPGIS)第 2.1 版「附属書 5（規定）定義」
- 国土交通省 国土政策局 GIS ホームページ ガイダンス
URL : <http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/gis/guidance/index.html>

1.6. 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7. 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2. 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1. 適用範囲識別

国土数値情報（駅別乗降客数）製品仕様書第 2.5 版適用範囲

2.2. 階層レベル

データ集合

3. データ製品識別

3.1. 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

- 空間データ製品の名称：国土数値情報（駅別乗降客数）データ
- 日付：2020年3月13日
- 問い合わせ先：国土数値情報提供サイト運営事務局
URL: <http://nlftp.mlit.go.jp/inquiry.html>
- 地理記述：全国

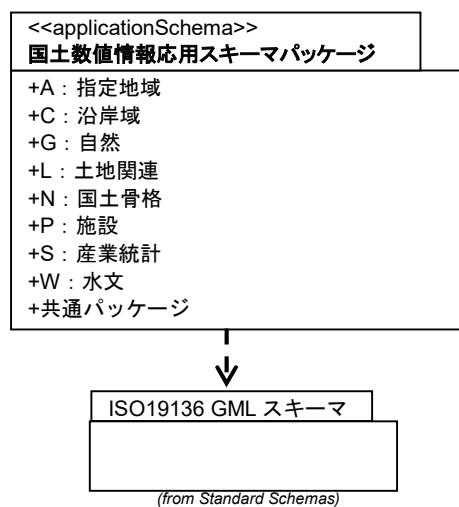
4. データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を紹介する。

4.1. 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

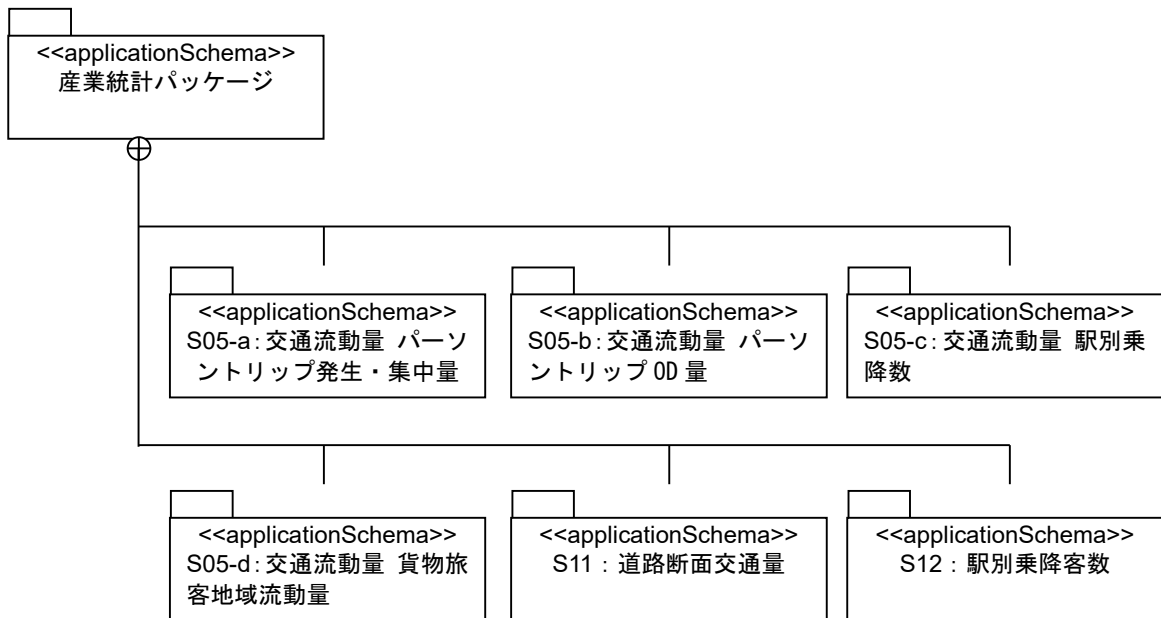
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報データ集合パッケージおよび国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、産業統計や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 産業統計パッケージ

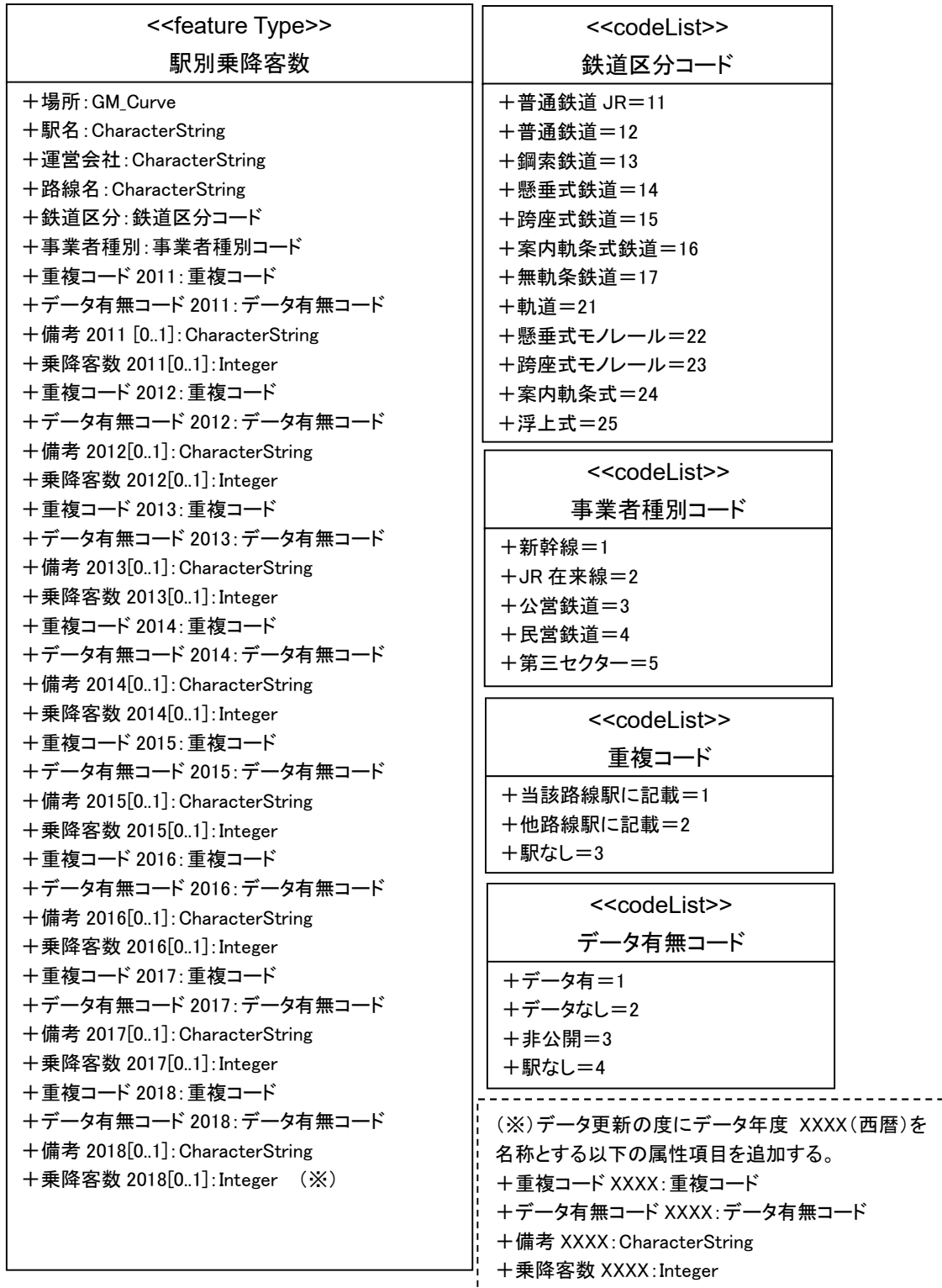
このパッケージは、産業統計パッケージをまとめたものである。



4.1.3 駅別乗降客数パッケージ

このパッケージは、駅別乗降客数に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1. 応用スキーマクラス図



4.1.3.2. 応用スキーマ文書

駅別乗降客数

駅別乗降客数は、鉄道事業者が管轄する駅の 1 日乗降客数を表したものである。
データ作成の原典資料を以下に示す。

- ・ 国土数値情報（鉄道）：(国土交通省)
- ・ 国土交通省保有の駅別乗降客数：(国土交通省)

なお、時点は「国土交通省保有の駅別乗降客数：(国土交通省)」の時点に準ずる。

上位クラス：国土数値情報地物

抽象／具象区分：具象

属性

場所：GM_Curve

原則として国土数値情報（鉄道）と同じ位置。

駅名：CharacterString

駅の名称。

- 定義域
原典資料に示される駅の名称。

運営会社：CharacterString

運営会社の名称。

- 定義域
原典資料に示される運営会社の名称。

路線名：CharacterString

路線の名称。

- 定義域
原典資料に示される路線の名称。

鉄道区分：鉄道区分コード

対象鉄道の区分。原典資料の値と同一。

- 定義域
「鉄道区分コード」がとりうる値。

「鉄道区分コード」の内容

定義	コード
普通鉄道 JR	11
普通鉄道	12
鋼索鉄道	13
懸垂式鉄道	14
跨座式鉄道	15
案内軌条式鉄道	16
無軌条鉄道	17
軌道	21
懸垂式モノレール	22
跨座式モノレール	23
案内軌条式	24
浮上式	25

事業者種別：事業者種別コード

対象運営会社の種別。原典資料の値と同一。

■ 定義域

「事業者種別コード」がとりうる値。

「事業者種別コード」の内容

定義	コード
JR の新幹線	1
JR の在来線	2
公営鉄道	3
民営鉄道	4
第三セクター	5

重複コード 2011：重複コード

2011 年度の駅別乗降客数データ記載の状況。

■ 定義域

「重複コード」がとりうる値。

「重複コード」の内容

定義	コード
当該路線駅に記載	1
他路線駅に記載	2
駅なし	3

データ有無コード 2011 : データ有無コード

2011 年度の乗降客数データの有無。

駅別乗降客数の値が無い場合は、省内データの場合は"2"または"4"となり、公開データの場合は"2"、"3"または"4"となる。"4"（駅なし）とは経年変化によって、当該年度に駅自体が存在していないことを表す。

■ 定義域

「データ有無コード」がとりうる値。

「データ有無コード」の内容

定義	コード
データ有	1
データなし	2
非公開	3
駅なし	4

備考 2011[0..1] : CharacterString

2011 年度データ作成時の資料の名称や特記事項。

■ 定義域

2011 年度データ作成時の資料の名称および特記事項。

乗降客数 2011[0..1] : Integer

2011 年度の駅別乗降客数（人／日）。

■ 定義域

原典資料に示される 2011 年度の駅別乗降客数（人／日）。

重複コード 2012 : 重複コード

2012 年度の駅別乗降客数データ記載の状況。

■ 定義域

「重複コード」（前掲参照）がとりうる値。

データ有無コード 2012 : データ有無コード

2012 年度の乗降客数データの有無。

駅別乗降客数の値が無い場合は、省内データの場合は"2"または"4"となり、公開データの場合は"2"、"3"または"4"となる。"4"（駅なし）とは経年変化によって、当該年度に駅自体が存在していないことを表す。

■ 定義域

「データ有無コード」（前掲参照）がとりうる値。

備考 2012[0..1] : CharacterString

2012 年度データ作成時の資料の名称や特記事項。

■ 定義域

2012 年度データ作成時の資料の名称および特記事項。

乗降客数 2012[0..1] : Integer

2012 年度の駅別乗降客数（人／日）。

■ 定義域

原典資料に示される 2012 年度の駅別乗降客数（人／日）。

重複コード 2013 : 重複コード

2013 年度の駅別乗降客数データ記載の状況。

■ 定義域

「重複コード」（前掲参照）がとりうる値。

データ有無コード 2013 : データ有無コード

2013 年度の乗降客数データの有無。

駅別乗降客数の値が無い場合は、省内データの場合は"2"または"4"となり、公開データの場合は"2"、"3"または"4"となる。"4"（駅なし）とは経年変化によって、当該年度に駅自体が存在していないことを表す。

■ 定義域

「データ有無コード」（前掲参照）がとりうる値。

備考 2013[0..1] : CharacterString

2013 年度データ作成時の資料の名称や特記事項。

■ 定義域

2013 年度データ作成時の資料の名称および特記事項。

乗降客数 2013[0..1] : Integer

2013 年度の駅別乗降客数（人／日）。

■ 定義域

原典資料に示される 2013 年度の駅別乗降客数（人／日）。

重複コード 2014 : 重複コード

2014 年度の駅別乗降客数データ記載の状況。

■ 定義域

「重複コード」（前掲参照）がとりうる値。

データ有無コード 2014 : データ有無コード

2014 年度の乗降客数データの有無。

駅別乗降客数の値が無い場合は、省内データの場合は"2"または"4"となり、公開データの場合は"2"、"3"または"4"となる。"4"（駅なし）とは経年変化によって、当該年度に駅自体が存在していないことを表す。

■ 定義域

「データ有無コード」（前掲参照）がとりうる値。

備考 2014[0..1] : CharacterString

2014 年度データ作成時の資料の名称や特記事項。

■ 定義域

2014 年度データ作成時の資料の名称および特記事項。

乗降客数 2014[0..1] : Integer

2014 年度の駅別乗降客数（人／日）。

■ 定義域

原典資料に示される 2014 年度の駅別乗降客数（人／日）。

重複コード 2015 : 重複コード

2015 年度の駅別乗降客数データ記載の状況。

■ 定義域

「重複コード」（前掲参照）がとりうる値。

データ有無コード 2015 : データ有無コード

2015 年度の乗降客数データの有無。

駅別乗降客数の値が無い場合は、省内データの場合は"2"または"4"となり、公開データの場合は"2"、"3"または"4"となる。"4"（駅なし）とは経年変化によって、当該年度に駅自体が存在していないことを表す。

■ 定義域

「データ有無コード」（前掲参照）がとりうる値。

備考 2015[0..1] : CharacterString

2015 年度データ作成時の資料の名称や特記事項。

■ 定義域

2015 年度データ作成時の資料の名称および特記事項。

乗降客数 2015[0..1] : Integer

2015 年度の駅別乗降客数（人／日）。

■ 定義域

原典資料に示される 2015 年度の駅別乗降客数（人／日）。

重複コード 2016 : 重複コード

2016 年度の駅別乗降客数データ記載の状況。

■ 定義域

「重複コード」(前掲参照) がとりうる値。

データ有無コード 2016 : データ有無コード

2016 年度の乗降客数データの有無。

駅別乗降客数の値が無い場合は、省内データの場合は"2"または"4"となり、公開データの場合は"2"、"3"または"4"となる。"4" (駅なし) とは経年変化によって、当該年度に駅自体が存在していないことを表す。

■ 定義域

「データ有無コード」(前掲参照) がとりうる値。

備考 2016[0..1] : CharacterString

2016 年度データ作成時の資料の名称や特記事項。

■ 定義域

2016 年度データ作成時の資料の名称および特記事項。

乗降客数 2016[0..1] : Integer

2016 年度の駅別乗降客数 (人/日)。

■ 定義域

原典資料に示される 2016 年度の駅別乗降客数 (人/日)。

重複コード 2017 : 重複コード

2017 年度の駅別乗降客数データ記載の状況。

■ 定義域

「重複コード」(前掲参照) がとりうる値。

データ有無コード 2017 : データ有無コード

2017 年度の乗降客数データの有無。

駅別乗降客数の値が無い場合は、省内データの場合は"2"または"4"となり、公開データの場合は"2"、"3"または"4"となる。"4" (駅なし) とは経年変化によって、当該年度に駅自体が存在していないことを表す。

■ 定義域

「データ有無コード」(前掲参照) がとりうる値。

備考 2017[0..1] : CharacterString

2017 年度データ作成時の資料の名称や特記事項。

■ 定義域

2017 年度データ作成時の資料の名称および特記事項。

乗降客数 2017[0..1] : Integer

2017 年度の駅別乗降客数 (人/日)。

■ 定義域

原典資料に示される 2017 年度の駅別乗降客数 (人/日)。

重複コード 2018 : 重複コード

2018 年度の駅別乗降客数データ記載の状況。

■ 定義域

「重複コード」(前掲参照) がとりうる値。

データ有無コード 2018 : データ有無コード

2018 年度の乗降客数データの有無。

駅別乗降客数の値が無い場合は、省内データの場合は"2"または"4"となり、公開データの場合は"2"、"3"または"4"となる。"4" (駅なし) とは経年変化によって、当該年度に駅自体が存在していないことを表す。

■ 定義域

「データ有無コード」(前掲参照) がとりうる値。

備考 2018[0..1] : CharacterString

2018 年度データ作成時の資料の名称や特記事項。

■ 定義域

2018 年度データ作成時の資料の名称および特記事項。

乗降客数 2018[0..1] : Integer

2018 年度の駅別乗降客数 (人/日)。

■ 定義域

原典資料に示される 2018 年度の駅別乗降客数 (人/日)。

(第 2.0 版から追記)

重複コード XXXX、データ有無コード XXXX、備考 XXXX、乗降客数 XXXX の 4 属性は、データ更新の度にデータ時点の年 XXXX (西暦) を名称とする項目を追加する。

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。なお、本パッケージでは使用しない。

4.2. 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル(JPGIS)第 2.1 版 空間スキーマ」を採用する。

4.3. 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル(JPGIS)第 2.1 版 時間スキーマ」を採用する。

5. 参照系

5.1. 座標参照系

参照系識別子 : JGD2011/(B,L)

5.2. 時間参照系

参照系識別子 : GC/JST

6. データ品質

6.1. 品質要求及び評価手順

データ品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	駅別乗降客数パッケージ
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 また、データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合、本体を除き、重複している余分なデータの個数をエラーとして数える。
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	過剰データの個数：0個

データ品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	駅別乗降客数パッケージ
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 また、データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合、本体を除き、重複している余分なデータの個数をエラーとして数える。
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	データの漏れの個数：0個

データ品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式が、整形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）を数える。
データ品質評価手法	検査プログラム（XML パーサなど）による全数検査を実施する。
適合品質水準	XML 文書の構文エラーの個数：0個

データ品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。
データ品質評価手法	検査プログラム（XML バリデータなど）による全数検査を実施する。
適合品質水準	符号化仕様の XML スキーマに対する矛盾の個数：0個

データ品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。
適合品質水準	地物属性の定義域一貫性のエラーの個数：0個

データ品質要素	位置正確度・位相一貫性
データ品質適用範囲	駅別乗降客数パッケージ
データ品質評価尺度	隣接する地物の端点が一致していない場合、その個数をエラーとして数える。
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。
適合品質水準	地物属性の位相一貫性のエラーの個数：0個

データ品質要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	駅別乗降客数パッケージ
データ品質評価尺度	国土数値情報（鉄道）と同一の地点を示す地物は、同データと同一座標に配置することとする。 ただし、新規に追加し国土数値情報（鉄道）に存在しない地物は、最新の「国土数値情報（鉄道）製品仕様書」の仕様に従うこととする。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	絶対正確度のエラーの割合：0%

データ品質要素	主題正確度・分類の正しさ
データ品質適用範囲	駅別乗降客数パッケージ
データ品質評価尺度	データ集合と参照データ（“原典資料名”に記載された資料）との比較を行い、地物型が正しく特定されていない場合、その個数をエラーとして数える。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	地物型が正しく特定されていないエラーの個数：0個

データ品質要素	主題正確度・定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	駅別乗降客数パッケージ
データ品質評価尺度	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（“原典資料名”に記載された資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	定量的な主題属性のエラーの個数：0個

データ品質要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	駅別乗降客数パッケージ
データ品質評価尺度	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（“原典資料名”に記載された資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	非定量的な主題属性のエラーの個数：0個

7. データ製品配布

7.1. 配布書式情報

- 書式名称

JPGIS 第 2.1 版 付属書 12 (規定) 地理マーク付け言語(GML)

- 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 2.1 版(GML)付属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/

国土数値情報 (駅別乗降客数) 応用スキーマの XML Schema は、付属資料参照のこと。

名前空間 : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞 : ksj

- 文字集合

UTF-8

- 言語

日本語

7.2. 配布媒体情報

- 単位

全国

- 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 2.1 準拠データ)

URL <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

8. メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、JMP2.0 を採用する。

国土数值情報（駅別乗降客数）製品仕様書 第 2.6 版

付属資料

1. 符号化仕様作成のためのタグ一覧

クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名 (属性・関連役割のみ)
産業統計パッケージ				
駅別乗降客数パッケージ				
駅別乗降客数		The Number of The Station Passengers Getting on and off		
駅	CurvePropertyType	station	Station	Station
駅名	CharacterString	stationName	Station Name	Station Name
運営会社	CharacterString	administrationCompany	Administration Company	Administration Company
路線名	CharacterString	routeName	Route Name	Route Name
鉄道区分	鉄道区分コード	railroadDivision	Code of Railroad Division	Code of Railroad Division
事業者種別	事業者種別コード	railroadCompanyClassification	Code of Railroad Company Classification	Code of Railroad Company Classification
重複コード 2011	重複コード	duplicate2011	Code of Duplicate(2011)	Code of Duplicate(2011)
データ有無コード 2011	データ有無コード	dataEorN2011	Code of Data Existence or Nonexistence(2011)	Code of Data Existence or Nonexistence(2011)
備考 2011 [0..1]	CharacterString	remarks2011	remarks(2011)	remarks(2011)
乗降客数 2011 [0..1]	Integer	passengers2011	The Number of The Passengers Getting on and off(2011)	The Number of The Passengers Getting on and off(2011)
重複コード 2012	重複コード	duplicate2012	Code of Duplicate(2012)	Code of Duplicate(2012)
データ有無コード 2012	データ有無コード	dataEorN2012	Code of Data Existence or Nonexistence(2012)	Code of Data Existence or Nonexistence(2012)
備考 2012 [0..1]	CharacterString	remarks2012	remarks(2012)	remarks(2012)
乗降客数 2012 [0..1]	Integer	passengers2012	The Number of The Passengers Getting on and off(2012)	The Number of The Passengers Getting on and off(2012)
重複コード 2013	重複コード	duplicate2013	Code of Duplicate(2013)	Code of Duplicate(2013)
データ有無コード 2013	データ有無コード	dataEorN2013	Code of Data Existence or Nonexistence(2013)	Code of Data Existence or Nonexistence(2013)
備考 2013 [0..1]	CharacterString	remarks2013	remarks(2013)	remarks(2013)
乗降客数 2013 [0..1]	Integer	passengers2013	The Number of The Passengers Getting on and off(2013)	The Number of The Passengers Getting on and off(2013)
重複コード 2014	重複コード	duplicate2014	Code of Duplicate(2014)	Code of Duplicate(2014)
データ有無コード 2014	データ有無コード	dataEorN2014	Code of Data Existence or Nonexistence(2014)	Code of Data Existence or Nonexistence(2014)
備考 2014 [0..1]	CharacterString	remarks2014	remarks(2014)	remarks(2014)
乗降客数 2014 [0..1]	Integer	passengers2014	The Number of The Passengers Getting on and off(2014)	The Number of The Passengers Getting on and off(2014)

重複コード 2015	重複コード	duplicate2015	Code of Duplicate(2015)
データ有無コード 2015	データ有無コード	dataEorN2015	Code of Data Existence or Nonexistence(2015)
備考 2015 [0..1]	CharacterString	remarks2015	remarks(2015)
乗降客数 2015 [0..1]	Integer	passengers2015	The Number of The Passengers Getting on and off(2015)
重複コード 2016	重複コード	duplicate2016	Code of Duplicate(2016)
データ有無コード 2016	データ有無コード	dataEorN2016	Code of Data Existence or Nonexistence(2016)
備考 2016 [0..1]	CharacterString	remarks2016	remarks(2016)
乗降客数 2016 [0..1]	Integer	passengers2016	The Number of The Passengers Getting on and off(2016)
重複コード 2017	重複コード	duplicate2017	Code of Duplicate(2017)
データ有無コード 2017	データ有無コード	dataEorN2017	Code of Data Existence or Nonexistence(2017)
備考 2017 [0..1]	CharacterString	remarks2017	remarks(2017)
乗降客数 2017 [0..1]	Integer	passengers2017	The Number of The Passengers Getting on and off(2017)
重複コード 2018	重複コード	duplicate2018	Code of Duplicate(2018)
データ有無コード 2018	データ有無コード	dataEorN2018	Code of Data Existence or Nonexistence(2018)
備考 2018 [0..1]	CharacterString	remarks2018	remarks(2018)
乗降客数 2018 [0..1]	Integer	passengers2018	The Number of The Passengers Getting on and off(2018)

(第 2.0 版から追記)

データ更新の度にデータ年度 XXXX(西暦)を名称とする以下の属性項目を追加する。

重複コード XXXX: 重複コード: duplicateXXXX

データ有無コード XXXX: データ有無コード: dataEorNXXXX

備考 XXXX: CharacterString: remarksXXXX

乗降客数 XXXX: Integer: passengersXXXX

2. 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2"
xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
elementFormDefault="qualified" version="2.5">
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/gml.xsd"/>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="TheNumberOfTheStationPassengersGettingonandoff" type="
ksj:TheNumberOfTheStationPassengersGettingonandoffType"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
  <xsd:complexType name="TheNumberOfTheStationPassengersGettingonandoffType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>駅別乗降客数</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
        <xsd:sequence minOccurs="1" maxOccurs="1">
          <xsd:element name="station" type="gml:CurvePropertyType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>場所</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="stationName" type="xsd:string">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>駅名</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="administrationCompany" type="xsd:string">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>運営会社</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="routeName" type="xsd:string">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>路線名</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
        </xsd:sequence>
      </xsd:extension>
    </xsd:complexContent>
  </xsd:complexType>

```

```

<xsd:element name="railroadDivision" type="ksj:CodeofRailroadDivision">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>鉄道区分コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="railroadCompanyClassification" type="ksj:CodeofRailroadCompanyClassification">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>事業者種別コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="duplicate2011" type="ksj:CodeofDuplicate">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>重複コード 2011</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="dataEorN2011" type="ksj:CodeofDataExistenceorNonexistence">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>データ有無コード 2011</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="remarks2011" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>備考 2011</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="passengers2011" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>乗降客数 2011</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="duplicate2012" type="ksj:CodeofDuplicate">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>重複コード 2012</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="dataEorN2012" type="ksj:CodeofDataExistenceorNonexistence">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>データ有無コード 2012</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="remarks2012" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>備考 2012</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="passengers2012" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>乗降客数 2012</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="duplicate2013" type="ksj:CodeofDuplicate">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>重複コード 2013</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="dataEorN2013" type="ksj:CodeofDataExistenceorNonexistence">
  <xsd:annotation>

```



```

    <xsd:documentation>データ有無コード 2013</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="remarks2013" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>備考 2013</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="passengers2013" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>乗降客数 2013</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="duplicate2014" type="ksj:CodeofDuplicate">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>重複コード 2014</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="dataEorN2014" type="ksj:CodeofDataExistenceorNonexistence">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>データ有無コード 2014</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="remarks2014" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>備考 2014</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="passengers2014" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>乗降客数 2014</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="duplicate2015" type="ksj:CodeofDuplicate">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>重複コード 2015</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="dataEorN2015" type="ksj:CodeofDataExistenceorNonexistence">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>データ有無コード 2015</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="remarks2015" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>備考 2015</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="passengers2015" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>乗降客数 2015</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="duplicate2016" type="ksj:CodeofDuplicate">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>重複コード 2016</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>

```

```

</xsd:element>
<xsd:element name="dataEorN2016" type="ksj:CodeofDataExistenceorNonexistence">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>データ有無コード 2016</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="remarks2016" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>備考 2016</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="passengers2016" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>乗降客数 2016</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="duplicate2017" type="ksj:CodeofDuplicate">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>重複コード 2017</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="dataEorN2017" type="ksj:CodeofDataExistenceorNonexistence">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>データ有無コード 2017</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="remarks2017" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>備考 2017</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="passengers2017" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>乗降客数 2017</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="duplicate2018" type="ksj:CodeofDuplicate">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>重複コード 2018</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="dataEorN2018" type="ksj:CodeofDataExistenceorNonexistence">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>データ有無コード 2018</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="remarks2018" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>備考 2018</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="passengers2018" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>乗降客数 2018</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>

```

```

    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="TheNumberOfTheStationPassengersGettingonandoffPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:TheNumberOfTheStationPassengersGettingonandoff"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="TheNumberOfTheStationPassengersGettingonandoffMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:TheNumberOfTheStationPassengersGettingonandoff"/>
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:simpleType name="CodeofRailroadDivision">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>鉄道区分コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:union memberTypes="ksj:CodeofRailroadDivisionEnumType
    ksj:CodeofRailroadDivisionOtherType"/>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CodeofRailroadDivisionEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="11">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>普通鉄道 JR</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="12">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>普通鉄道</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="13">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>鋼索鉄道</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="14">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>懸垂式鉄道</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
  </xsd:restriction>

```

```

<xsd:enumeration value="15">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>跨座式鉄道</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>案内軌条式鉄道</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="17">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>無軌条鉄道</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="21">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>軌道</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="22">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>懸垂式モノレール</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="23">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>跨座式モノレール</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="24">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>案内軌条式</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="25">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>浮上式</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
</xsd:restriction>

```

```

</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CodeofRailroadDivisionOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CodeofRailroadCompanyClassification">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>事業者種別コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:union memberTypes="ksj:CodeofRailroadCompanyClassificationEnumType
ksj:CodeofRailroadCompanyClassificationOtherType" />
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CodeofRailroadCompanyClassificationEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="1">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>新幹線</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="2">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>JR 在来線</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="3">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>公営鉄道</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="4">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>民間鉄道</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="5">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>第三セクター</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CodeofRailroadCompanyClassificationOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

```

```

<xsd:simpleType name="CodeofDuplicate">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>重複コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:union memberTypes="ksj:CodeofDuplicateEnumType
ksj:CodeofDuplicateOtherType"/>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CodeofDuplicateEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="1">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>当該路線駅に記載</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="2">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>他路線駅に記載</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="3">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>駅なし</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CodeofDuplicateOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}"/>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CodeofDataExistenceorNonexistence">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>データ有無コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:union memberTypes="ksj:CodeofDataExistenceorNonexistenceEnumType
ksj:CodeofDataExistenceorNonexistenceOtherType"/>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CodeofDataExistenceorNonexistenceEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="1">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>データ有</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="2">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>データなし</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

```

```
</xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="3">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>非公開</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="4">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>駅なし</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CodeofDataExistenceorNonexistenceOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
</xsd:schema>
```